

第一地方銀行とストレステスト

経済学部金融学科 3 年

内田佑紀 加來里穂 須賀健太 広瀬周平

(茶野ゼミ)

要旨

近年地方銀行は、預貸率の低下、貸出による収益率の低下、地方人口の激減、銀行の過剰な存在という現状より、再編を余儀なくされている。実際に 2014 年 11 月に熊本県のトップ行である肥後銀行と、鹿児島県のトップ行である鹿児島銀行が経営統合協議を進めると発表し、地銀最王手の横浜銀行と東京に基盤を置く東日本銀行が経営統合をすると発表している。現在再編へと動いているのはこうしたトップ行であり、これから経営が厳しくなっていくであろう銀行は動いていない。このような厳しい状況で各地方銀行は、銀行や地方によって経営の特性があるのでないかと考え、各銀行にストレステストを使って分析し、リスク耐性の違いとそこからわかる各行の特性を把握する。